

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-006

PDCA	事務事業名	半田市観光協会支援事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光担当	担当	酒井	
					内線等	324	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 1. 観光 単位施策： (2) 観光振興のための連携強化 個別施策： ②各種団体との連携強化					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	観光客対応や観光イベントの企画・運営等、魅力ある観光地づくりの中心的存在である半田市観光協会の活動を支援するため、半田市観光協会事業費等を補助することで、半田市の観光魅力の向上とおもてなし体制の充実を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・半田市観光協会事業費等への補助金交付 ・半田市観光協会主催イベント等への運営支援					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①アイブラザ半田案内所利用実績	40,288	48,754	60,906	人	
		②駅前観光案内所利用実績	11,555	15,807	15,764	人	
		③半田市観光協会ホームページへの訪問回数	261,852	380,247	452,497	回	
		事業費	12,733	12,749	12,850	千円	
		人件費	1,906	317	312	千円	
		総事業費	14,695	13,066	13,162	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①市内観光案内所利用者一人当たりの事業費	283	202	172	円/人		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①年間の観光客数	実績値	1,540	1,625	1,681	千人
			目標値	1,400	1,600	1,630	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	B					
		観光協会は、企業・市民活動団体等多様な主体と連携を図り、様々なイベントを円滑に実施した。また、ホームページやSNSによる情報発信や、レンタサイクル等による回遊性向上の取り組みにより、観光客の誘客を促進することができた。蔵のまち観光案内所（アイブラザ半田内）及び知多半田駅前観光案内所（クラシティ内）を適切に運営することで、増加している観光客への案内やおもてなしに対応することができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進 今後も観光協会の活動を支援することで、観光情報の効果的な発信等観光客誘客のフロント業務を推進していく。また、蔵のまち観光案内所及び知多半田駅前観光案内所の運営や、観光客のおもてなしにつながる各種の事業を展開することで観光客の満足度の向上を図っていく。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①年間観光客数	1,700	千人			